

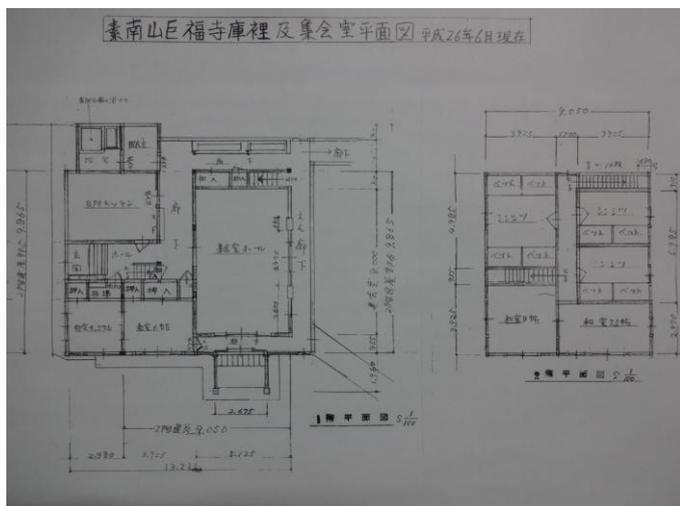
巨福寺だより

第11号 平成28年3月

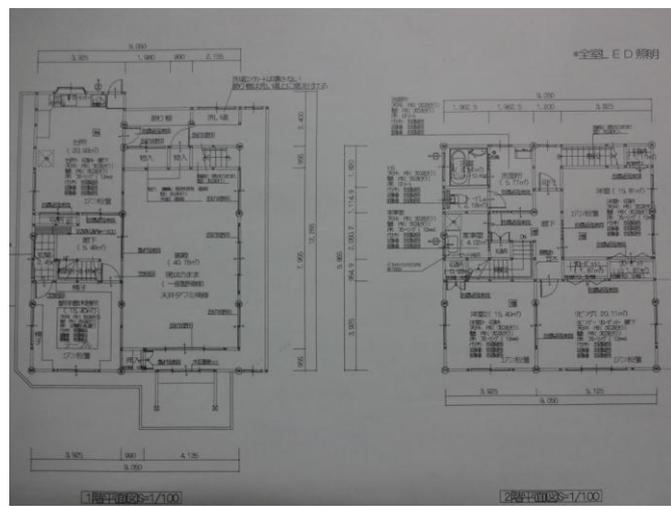
発行者：日蓮宗 素南山 巨福寺

庫裡改修事業完成

今、日蓮宗宗門は、まもなく宗祖日蓮大聖人御降誕800年の大慶幸を迎えるにあたり、また、巨福寺住職 藤沢貴文上人のご結婚を祝し、この度、巨福寺檀信徒の皆様のご多大なるご理解・ご協力のもとに昨年スタートした「巨福寺庫裡改修事業」が、本年2月に晴れて完成致しました。また、事業完成を記念し、同2月21日、関係各寺院ご参集のもと、「宗祖日蓮大聖人御降誕800年報恩 及び 庫裡改修事業完成お披露目大法要」が、巨福寺本堂にて大勢の檀信徒ご参拝の中、盛大に執り行われました。



改修前の庫裡(旧ユースホテル)図面



改修後の庫裡図面



→
建物全景
西側より



☆工事作業風景並びに施工関係者の皆様 (福滝建設株式会社様にて 27年7月より着工)



☆☆☆ 祝 新庫裡 完成 ☆☆☆(平成28年2月 劇的ピフォーアフター)



改修前本玄関



新本玄関 内部



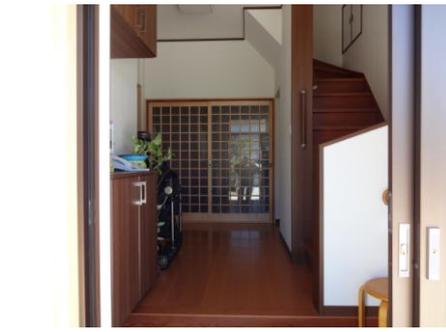
1階 共同台所 ↓



1階 通常玄関 ↓



1階 廊下 ↓



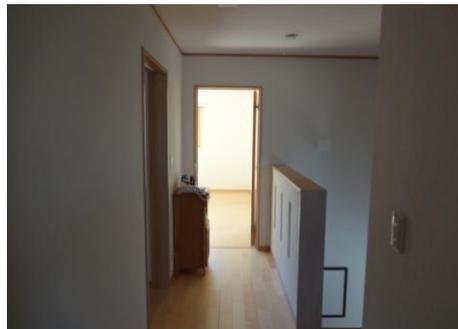
1階 流し場 ↓



2階 中央廊下 ↓



駐車場スペース ↓



☆その他の改修箇所



参拝者休憩所



同左 内部



2階 リビング



2階 西部屋



2階 簡易キッチン



2階 バス トイレ



2階 ベランダ



寄進者芳名板



ご覧のように、見事に完成致しました。

☆☆☆宗祖御降誕800年及び新庫裡お披露目大法要☆☆☆

(平成28年 2月 21日 日曜日 巨福寺本堂にて厳修)



寺院7名、檀信徒他50名参拝のもと盛大に行われました。

宗祖日蓮大聖人御降誕800年報恩 及び 庫裡改修事業完成 慶讃奉告文

南無佛南無法南無僧 佛祖三宝諸天善神 大慈大悲大哀大愍來臨擁護知見照覽 日蓮宗宗門は今や 宗祖日蓮大聖人御降誕八〇〇年の大いなる慶幸に相当たり ここに当山庫裡改修事業の完成を鑑みては 山門今日 清浄の大衆と共に謹んで一会の大法要を修し以ってその鴻恩に報謝し奉る 伏して惟るに 抑も当山素南山巨福寺は 日蓮宗宗門史跡大和妙本寺開創大覚大僧正妙実聖人を開山と仰ぎ 文和四年一三五五年開創以来六六〇年 文禄一五九〇年代当山再建立し巨福寺の寺格を永彰 末寺中津井妙源寺を開創す第十一世写経院日源上人を中興開山とし 代を重ねること三十九代 菩提寺として檀信徒の育成教化 宗風宣揚に邁進す その堂塔伽藍は今を溯ること約二五〇年前 江戸時代は寛永・延享の二度の大火災により全山焼失するも 明和一七七〇年代第二十三世即妙院日格上人代に本堂再建 寛政一八〇〇年代第二十五世無量院日辺上人代に庫裡を再建 爾來幾度となく修善・増改築を施し伽藍を維持す 昭和に入り歳月を数えること約二〇〇年 先住第三十八世本然院日脩 藤沢玄唱上人代 庫裡の老朽破損特に著しく部分的修善は不可能な現状に陥り折 時当に宗祖日蓮大聖人御降誕七五〇年 意を決し庫裡大改修を時の護持会三代会長・永井恒三郎氏を建設委員長に行い 昭和四十七年十一月に完成 同時に宿泊施設高梁ユースホステルの開業を実現し 先住藤沢玄唱上人は妻アサ子氏と共に 寺門護持・興隆及びユースホステルペアレントとして青少年育成にも勤むなり 時は平成に入り 昭和の古き良き時代には利用者も多かったユースホステルも 時代の移ろいと共に減少傾向に陥る 平成十二年 時の護持会五代会長・小野和男氏を陣頭に 日蓮宗立教開宗七五〇年記念の年に向け再び庫裡大改修を決意し 現会長・小池悦夫氏を建設委員長に進めるも 特別会員「高梁ユースホステル友の会」も二十名なからいた当ユースホステルの廃業はあまりに僥び難く 旧書院部分を大改修 その他にも位牌堂・渡廊下改修など 総事業費約八千万円の浄財を賜り 平成十四年六月八日に落慶 現在の巨福寺が誇る庫裡客殿の完成に至れり 然りと雖もユースホステルの利用客の激減は元より 近年の消防法の大改正により高梁ユースホステルの継続は誠に困難を極め 平成十六年高梁ユースホステルは敢え無く閉館す 以来旧ユース建物の老朽化が進む中 沙門某の結婚を期しては三度一念発起 駐車場の拡張をはじめ旧ユース建物の大改修を決意し 永井芳郎氏を建設委員長に 寄進総額二千四百五十三万円 檀信徒各位より度重なり貴重な浄財を賜り 本日ここに完成をみるに至れり 此れは是 偏に檀信徒各位の祖先を深く敬い 菩提寺を想い 尊き信心の結晶 此処に我等法悦感謝窮りなし 仰ぎ願わくは御降誕八〇〇年死身弘法の大導師南無本化上行高祖日蓮大菩薩 本日ここに我等一同至心に報謝し奉る 我不愛身命 但惜無上道 巧於難問答 其身無所畏 忍辱心決定 端正有威徳 十方佛所讃 恩山の一塵徳海の一滴に謝し奉る大慈大悲御報恩謝徳 伏して祈らくは巨福寺檀方信徒の面々各々各家内安全家運永昌 子々孫々繁栄 菩提心増長護持山門 殊には当山繁栄伽藍相統 火盜公私所縁吉祥 未来永劫法燈繼承 承法燈高揚宗風宣揚 寺檀和融令法久住ならしめ給わんことを 感応道交御利益無窮 感応道交哀愍御守護 南無妙法蓮華經 維時 平成二十八年 二月 二十一日 吉祥 素南山巨福寺 傳燈 第三十九世 本龍院日淨 和南 敬白

☆建設委員長 挨拶 (永井芳郎様)



本日皆様と共に、改修された新庫裡を拝見し、その完成を祝う事ができ、心よりうれしく感じる次第です。思えば一昨年10月、恒例お月見の会において、檀家にとって長年の懸案であったお上人ご結婚の報告に驚きと慶びに沸き、同時に当時の住まいでは生活が手狭なことから、庫裡改修の気運が高まり、建設委員会を立上げ度重なる協議を重ね、準備を進めて参りました。方針としては、近年大きな事業も多かったため、使える箇所は残しながら、節約を旨とし、時代に沿ったリフォームをすることに決定致しました。臨時総会にての承認後、本格的に動き出し、まず建設資金を募るため檀信徒の皆様にご寄附のお願いを致しましたところ、目標を上回る約2,400万円の申出を載せ、お寺を思う皆様の温かいお気持ちにあうため感謝の念を強く致しました。また工事途中には問題点も幾つかありましたが、福滝建設様には想像以上の立派な新庫裡を完成させて頂きました。寺族の皆様には共に支え合い困難を乗り越えていくことができる家庭を、この改修された新庫裡のもとで築いていかれることをご期待申し上げます。また檀信徒の皆様には、共に創り上げた新庫裡を今まで以上にご利用頂き、お寺と檀家の絆がさらに深まる様お互いに努めて参りたいものです。結びに皆様の益々のご健勝とご多幸、さらには宗祖御降誕800年を迎える日蓮宗巨福寺益々の興隆をご祈念申し上げ、事業完成への皆様の多大なご協力に対する「御礼のことば」とさせて頂きます。本日は誠にありがとうございました。

☆住職 謝辞 (藤沢貴文上人)



巨福寺檀信徒の皆様には、本当に度重なるお願いにも関わらず本当にありがとうございます。特に平成14年日蓮宗立教開宗750年の時に、庫裡・客殿の大改修を終えたばかりでした。その大事業の際、時の建設委員の皆様は今回のユース建物も含め全改修を要望されておりましたが、時の住職・先代藤沢玄唱上人は風前の灯であったにも関わらずユース存続を希望されました。思えば先代が皆の反対を押し切り、古いユースの建物を残したのは、今日この日の巨福寺檀信徒の皆様多大なるご厚情への感謝の想いを、私若僧に肌身で感じさせるための課題として残してくださったような気が致します。また近年の高梁の過疎化等を鑑みると、正直なところ巨福寺の行末を憂いともいましたが、ここに完成した新庫裡、皆様の祖先を想い、菩提寺を想う尊き信心の結晶を決して無駄にしないことこそが、宗祖御降誕800年を迎える宗門興隆及び巨福寺の発展はもとより、皆の故郷であるこの高梁市のためでもあることを、今日ここにあらためて確信致しました。今後は寺族、そして檀信徒の皆様と共に、祖先及び皆様の安心はもちろんのこと、今まで以上に力を合わせて、この巨福寺を盛り上げて参りたいと思います。本日は本当にありがとうございました。

宗祖日蓮大聖人御降誕800年 報恩

巨福寺 (旧ユース建物) 庫裡改修事業 建設委員会

- ・委員長 永井 芳郎
- ・副委員長 田中 守 小池 悦夫 高杉 徹義
- ・特別会計 百野 吟子 中村 莞爾
- ・委員 赤木 頼男 池上 敏夫 小川 治生 伊達 貴生
名合 博志 福田 稔 藤野 瑞恵 横山 宏志

◎庫裡改修事業 完成までの建設委員会の歩み

- ・平成 26 年 7 月 5 日 護持会定例役員会にて、今事業に際し建設委員会の発足を決定する。
- ・平成 26 年 11 月 27 日 第 1 回建設委員会予定者会議にて、委員長はじめとする委員会メンバーの決定、及び施工業者の選定を協議し、福滝建設に決定する。
- ・平成 27 年 1 月 22 日 第 2 回建設委員会予定者会議にて、今事業の詳細、並びに図面を協議し、当初予算並びに寄進目標額を決定する。
- ・平成 27 年 2 月 16 日 第 3 回建設委員会予定者会議にて、施工内容及び図面詳細を協議決定する。
- ・平成 27 年 3 月 1 日 護持会臨時総会にて、建設委員会の発足、並びに今事業の実行が承認決定する。
- ・平成 27 年 5 月 22 日 第 4 回建設委員会にて、檀信徒皆様へ寄附のお願いをするにあたり、詳細を協議決定する。
- ・平成 27 年 6 月 30 日 福滝建設株式会社と正式契約、翌 7 月 1 日より工事着工する。
- ・平成 27 年 9 月 26 日 建設委員会執行部会議にて、工事中間にあたり、施工の見直し点を協議決定する。
- ・平成 27 年 11 月 23 日 第 5 回建設委員会にて、中間報告、並びに記念誌、芳名板、お披露目詳細を協議決定する。
- ・平成 28 年 2 月 21 日 改修工事完成、第 6 回建設委員会にて、最終報告及び最終決算を協議決定する。

☆☆巨福寺 庫裡 (旧ユース建物) 改修事業☆☆

檀信徒寄進総額

金、24,530,000円也、(124名)

巨福寺檀信徒の皆様の多大なる貴重なご浄財、また菩提寺への篤いご理解・ご協力により、無事に、かつ大変立派に完成出来ましたこと、建設委員会一同、心より篤く御礼申し上げます。 合掌

その他の出来事

この度の巨福寺庫裡改修事業は、縮小リフォームであったことから、解体により余った瓦を使い、本堂から最上稲荷堂へつづく太鼓橋の屋根替、及び長年の風雨により傷



修復前



修復後

んだ本堂外壁の一部を、護持会特別会計より修復して頂きました。



☆☆☆ 巨福寺 第一子 誕生 ☆☆☆

今年1月9日、巨福寺住職 藤沢貴文上人と妻梨花さん夫妻に、待望の第1子、2904グラムの女の子がめでたく誕生致しました。産まれて二ヶ月が経ちましたが、母子共に健康で、すくすくと健やかに成長しているようです。



ふじさわ じかり

(どちらかというとお父さん似の模様) 命名: 藤沢 樹里ちゃん



今後の行事予定

3月17日(木)～23日(水)

春のお彼岸(中日:20日)

4月29日(金) 10時～

お釈迦様ご降誕会 花まつり 及び 護持会総会

6月 8日(水) 11時～

巨福寺 鬼子母神祭

7月24日(日) 18時～

巨福寺 最上稲荷・諸天善神 祈願祭 (ほうろく灸)